

令和7年度 社会福祉法人ウイズユー地域連携推進会議議事録

事業所名	ウイズユースマイル	事業所番号	3120100494
開催日時	令和8年3月18日(水) 10:00~11:40	議事録作成日	令和8年3月19日
開催場所	ウイズユー オリオン食堂(鳥取市晩稲306番地)		
参加 構成員	地域の関係者:I氏(区長)、利用者家族代表:K氏、利用者代表者:O氏 市担当者:M氏、市担当者:W氏		
説明者	理事長、サビ管A、サビ管B、世話人		
司会進行役	理事長		

会議概要

1 開会あいさつ

岡部理事長より開会のあいさつを行った。

2 出席者紹介

施設職員、参加構成員の順で自己紹介を行った。

3 説明

(1) 理事長が会議設置・開催の目的・経過について「資料3 (構成員向け) 地域連携推進会議の概要」に基づいて説明を行った。

(2) 理事長がウイズユースマイルの共同生活援助(グループホーム)の概要についてパンフレットを用いて説明を行った。

[意見・質問]

(I氏) GHに入っている人はA型を利用している人が多いのですか。

⇒(回答) 混在しています。A型、B型利用者が半々です。B型利用者は一部ウイズユー以外の事業所を利用されている人もおられます。

(I氏) 地域活動として、ここ晩稲のGHは何かしていることはありますか。また、ゴミ収集は事業ごみとして収集しているのですか。

⇒(回答) 晩稲は自治連合会に属していないため、自治会がありません。このため地域活動ができていません。そのため、ゴミステーションがないのでA型クリーニングの事業所と一緒に事業ごみとして処分しているところです。しかし、他のGHにつきましては、各町内会に入っていますので、ゴミステーションを利用しています。

4 議事

I グループホームと地域の連携

(1) 利用者の障害について、サビ管Aが次のとおり説明を行った。

- ・現在のGH利用者の主な障害の種別について(知的障害:50人、精神障害2人、身体障害1人)
- ・障害についてのレクチャー「資料 障害について」

[意見・質問]

(K氏) グループホームを利用できる年齢は決まっていますでしょうか。

⇒(回答) 下は18歳から、上限は定めていません。ただし、上限に関しては、加齢・介護・病気等の関係上、支援センターと協議することがございます。

(2) 近隣からの苦情等について、サビ管Bが次のとおり説明を行った。

- ・ゴミステーションの掃除当番、鍵の開け閉めなどの管理で苦情があり、その都度利用者を交えて相談していること。
- ・ホームの周りで独り言を言いながら歩いていると苦情を受け、障がいの特性を説明したこと。
- ・近隣の方と仲良くできている利用者は、挨拶を交わして会話をしたり、野菜などの差し入れを頂くこともあること。

- ・水害の避難指示で避難所に避難した時、近隣から大丈夫だったかという声をかけてもらえたこと。
- ・集合住宅（市営住宅）では、タバコの煙や、上下階への騒音でトラブルになったこと。
- ・集合住宅（市営住宅）の共同の花壇の使い方でトラブルに巻き込まれたこと。

[意見・質問]

（O氏）私は特にトラブルはないです。

(3) 地域の行事参加について、サビ管 B が次のとおり説明を行った。

- ・地域で行われる春の一斉清掃に参加しているが、決まった利用者しか参加できていないこと。
- ・コロナ前は、夏祭りに参加することが楽しみだった利用者も多かったが、参加する行事自体が減ってきたこと。

[意見・質問]

（I氏）南限の行事も減ってきており、秋にグランドゴルフをやってバーベキューをしました。子供を巻き込んだイベントでないと人が集まらなくなっています。

II グループホーム事業やサービスの透明性・質の確保

(1) 利用者の日常について、サビ管 B が次のとおり説明を行った。

- ・平日は、A型、B型などの日中活動を行い、帰宅後は、夕食の準備を世話人と一緒に行い、夕食、入浴そして就寝するリズムで生活されていること。
- ・ホームでのルールとして、ゴミ出し当番、掃除当番などを順番にしていること。
- ・「GHの日」を月に1回定めて、普段できないこと（外食会、ボーリング、他のホームとの交流会、部屋の大掃除、買い物など）を世話人と利用者で話し合っって計画・実施していること。

[意見・質問]

（O氏）GHの日は、楽しみで、みんなと買い物、ボーリング、「しゃぶ葉」に行ったりします。

（K氏）よく子供が「今日はお楽しみ会があった」と聞いています。利用者さん同士のつながりができていいと思います。

(2) 経営状況について、理事長が次のとおり説明した。

- ・資金収支、損益共に赤字が続いているが、改善傾向にあること。
- ・世話人の離職率が法人平均より高い傾向にあるが、この2か年は離職者が年間1人と改善しつつあること。
- ・新規採用職員の支援体制を強化し、その育成に努めていること。
- ・利用者が定員を下回り空室が生じており、その解消が急務であること。
- ・本年度から「医療連携体制加算」の適用を受け、利用者への医療提供サービスの質の向上と、支援費収入の拡充を両立したこと。

(3) BCP（業務継続計画）の策定状況について、理事長が次のとおり説明した。

- ・感染対策指針（令和6年4月1日施行）
- ・新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（令和6年4月1日施行）
- ・自然災害発生時における業務継続計画（令和6年4月1日施行）

III 利用者の権利擁護

(1) 虐待、事故、ヒヤリハットについて、サビ管 B が次のとおり説明した。

- ・現在までのところ、虐待は発生していないこと。職員は、虐待防止研修を定期的に受け、虐待発生防止に努めていること。
- ・例えば体調管理などにも複数人の職員が関わるようにしているので、虐待等が起こりにくい環境を作っていること。
- ・ヒヤリハットでは、利用者の高齢化もあり、滑って転びやすくなっているので、床が濡れないように気を付けているこ

と。高齢の利用者がお風呂に入りやすくするように、座りやすい椅子を準備し、日々生活しやすい状況になるよう心掛けてのこと。

(2) 世話人の支援（業務）について、サビ管 B が次のとおり説明した。

- ・食事、健康管理（薬の管理、通院付き添い）、公的手続きのサポート（マイナンバー取得等）
- ・金銭管理（小遣いの使い方のサポート）、部屋の掃除の手伝い、買い物のサポート、悩みごとの相談
- ・利用者の意向聞き取りについては、字の読み書きが出来ない方もいるので、個々にモニタリング中に他の利用者に聞かれないようにして悩みや希望を聞いて対応していること。

IV その他

[意見・質問]

(I 氏) ウイズユーの経営状況の監査はあるのですか。

⇒ (M 氏) 定期的（3年に1度）に実地指導、法人監査が行われています。この地域連携推進会議では、行政からの監査というのではなく、地域の目が毎年入ってくるという目的があります。

(I 氏) 一個人としてウイズユーの運営にかかわっていくのは難しいと思う。

⇒ (回答) 本会議の目的は、外部の方に知ってもらい、感想を言ってもらうことが目的です。経営については、理事会・評議員会が担当しますので問題ありません。

(K 氏より)

- ・20年前に自分も GH を立ち上げました。当時の地域参加は納涼祭ぐらいしかなく、参加する利用者も決まっていました。
- ・GH の運営では、世話人になってくれる方がなく、苦労しました。また、日中の事業とセットで運営しないと赤字経営になってしまいます。
- ・自分の施設では、利用者の満足度調査で苦労していますが、しゃべれない・書けない人には、笑っていただければ満足していただいているとしています。
- ・ウイズユーでは、利用者の意向をしっかりと重視されていると感じられました。

5 閉会

理事長より閉会の挨拶を行った。